

ハワイ報告書

国際文化学科 3年 A.N.

今回の研修に参加して、2週間という期間でありましたが、なにより英語をしゃべるという事に格段に自信ができました。ハワイで授業を担当して下さった先生も、研修のはじめの頃から私たちは間違いを作る事を恐れすぎて、喋る事に自信がなく口を閉ざしすぎていると言われました。授業中でも大学以外の生活のなかでも、ハワイについたばかりのころと2週間後とは、1日の中で喋る英語の量が全然違うという事が自分でも実感できるほどでした。日常生活においても、この研修では学校での通学を含め、休日の自由行動でも公共バスを利用していたので、バスの運転手や乗客の方に自分から喋りかけて、何番のバスに乗るかどの停留所で降りるか、など小さな積み重ねでも喋る機会が沢山ありました。これにより、英語をしゃべるという事はもちろん、相手の喋っている英語を聞いてどういう表現を使っているかを知り、自分の表現の幅を広げる事もできました。

また、自由行動の時間では、パールハーバーを訪れて、日本とアメリカの歴史をアメリカ側から見たり、動物園や水族館を訪れて、ハワイに生息している生き物を見ることもできました。朝早くにダイヤモンドヘッド登山をして、頂上から朝日を眺めたことなども良い体験ができたと思います。

ハワイ大学の先生は、私たちに英語の文法などはもちろんの事ですが、私たちのふとした日常の疑問などにも答えてもらえたり、そこからハワイの文化やハワイでおこった社会問題を教えてもらったりしたこともありました。言語だけの学習でなく、幅広い事を知ることができたので、とても充実した研修であったと私は思います。

今回はホテルでの滞在という事でしたが、ホームステイという選択もあっても良いのではないのでしょうか。やはり、テキストでの学習と同時に会話をすることで、一層英語の能力は伸びると今回の研修での体験も含めて感じたので、ホームステイというのはよい機会だと思います。一方でホームステイでは家によってはふさわしくない家庭もあるという話しもよく耳にするし、私たちの行動も制限されるという点も考えられます。私はホテルの滞りで良かったと思っている点は、門限を決めたうえでも、食事の時間も自分で決める事が出来たりしたので、ある程度の行動の自由があった事により、一日の行動を自分たちできちんと計画して、行きたいと思った所に行く事が出来た事にあると思います。大学での授業を除いても、ハワイでの研修は体験できてよかったと思う事が沢山あったので、これはホテル滞在であったからではないかと思いました。

今後の抱負としては、もっと英語を喋る機会を持ちたいと思っています。今回の研修を通して、私は自分の会話中の文法ミスも、相手が喋っているところから正しい文法を知る事が出来ました。会話を行うということで、喋る事に抵抗はなくなるし、間違いを直す事も出来るし、表現も増えるので、積極的に英語で喋る機会を設けたいと思います。今後語学研修に参加しようとする人たちへは、先も述べましたが、喋ることへの積極性が大切だ

とアドバイスさせていただきます。テキストでの学習も大切ですが、そのうえで自分が実際に喋って体験することで一層身に付きやすいと思います。